

SOKA UNIVERSITY SCHOLARSHIP GUIDE

奨学金ガイドブック
2023



SOKA University

Discover your potential

自分力の発見

創価大学独自の奨学金制度について

創価大学では、多くの方からの真心のご支援を財源に、独自の奨学金制度を実施し、学生を支援してきました。

POINT 1 すべて返還義務のない奨学金制度

一般的に奨学金には、卒業後返還が必要な「貸与型奨学金」と返還義務のない「学費減免型奨学金」「給付型奨学金」があります。学生のみなさんが安心して学業に取り組めるよう、創価大学独自で実施している奨学金はすべて返還義務のない給付型奨学金です。

POINT 2 学費の負担を軽減

創価大学の2023年度入学生の学費はどの学部も全国平均より低く設定されています。全国の文系学部の初年度納付金（入学金や学費の合計）は約125万円ですが、創価大学は約117万円（経済・経営・法学部）です。

さらに、創価大学の実施する給付型奨学金に採用になり、学費半額相当の給付が受けられた場合、創価大学の文系学部は約77万円の負担となり、国立大学の初年度納付額（約82万円）よりも負担が軽減されます。

POINT 3 経済支援と学業奨励の制度が充実

創価大学の奨学金制度は「経済的に困難な学生を支援するための奨学金」と「成績優秀者を奨励するための奨学金」が充実しています。それぞれの制度に設けられている採用基準をご確認ください。

POINT 4 緊急時の経済支援も実施

掲載している奨学金制度の他にも、ご実家が災害に被災した学生への支援や、予測できない事情によって家計が急変してしまった学生への支援も実施しています。お困りごとやご不安など、何かあれば学生課奨学金係にご相談ください。

高等教育の修学支援新制度について

「高等教育の修学支援新制度」は、所得が低いご家庭でも安心して大学に進学できるよう、経済的負担を軽減することを目的として国が実施する制度です。

支援を受けるためには、在籍している学校（受験生は高校等）に申し込み、対象者となることと、国の要件を満たした大学・短大等に進学することが条件になります。

支援の対象者が、対象となる大学等に進学した場合、「入学金および授業料の減免」と「給付型奨学金」の両方の支援が家計に応じて受けられることとなります（3段階）。例えば、創価大学経済学部に入學した自宅外通学生が、支援の対象となった場合の支援額の合計は、最大で1年次は約180万円、4年間で約660万円の奨学金（減免・給付）が受けられることとなります。

※学部・通学形態・生活保護等の世帯で支援額が異なります。家計・成績における継続審査があります。

※詳細は本冊子の「高等教育の修学支援新制度」の部分をご確認ください。



創価大学が独自で実施している返還不要の奨学金

経済的に困難な学生を支援するための奨学金

○家計収入基準（1～3の奨学金制度に適用）

主たる生計維持者の年収が、給与（年金）所得の場合は収入金額（課税前）が600万円未満、事業所得の場合は所得金額が250万円未満であること

※以下1～4の奨学金制度と、国の「高等教育の修学支援新制度」とは併給できません。

1 創価大学給付奨学金

給付型・返還不要

出 願	春学期5月～6月頃に受付
給 付 額	文系学部40万円、理工・看護学部50万円を給付（当該年度秋学期に一括給付）
採用人数	80名以内
採用期間	1年間 ※毎年出願可能
出願条件	学業成績・家計収入基準を満たす学生

※上記「文系学部」は経済・経営・法・文・教育・国際教養学部です。

2 創価大学牧口記念教育基金会学部生奨学金

給付型・返還不要

出 願	春学期5月～6月頃に受付
給 付 額	全学部 20万円（当該年度秋学期に一括給付）
採用人数	全学部 110名程度
採用期間	1年間 ※毎年出願可能
出願条件	学業成績・家計収入基準を満たす学生

※①「創価大学給付奨学金」不採用者のなかで家計困窮度の高い者から順に採用されます。

3 創価大学創友会奨学金

給付型・返還不要

出 願	春学期5月～6月頃に受付
給 付 額	全学部 20万円（当該年度秋学期に一括給付）
採用人数	全学部 75名以内
採用期間	1年間 ※毎年出願可能
出願条件	学業成績・家計収入基準を満たす学生

※①「創価大学給付奨学金」②「創価大学牧口記念教育基金会学部生奨学金」不採用者のなかで家計困窮度の高い者から順に採用されます。

4 兄弟姉妹同時在籍者への給付奨学金

給付型・返還不要

申 請	4月初旬に受付
対 象 者	兄弟姉妹が創価大学・創価女子短期大学に在籍している新入生
給 付 額	兄弟姉妹の同時在籍が2人目の場合、新入生に対し入学後「入学金半額」（10万円）を給付 兄弟姉妹の同時在籍が3人目以降の場合、新入生に対し入学後「入学金全額」（20万円）を給付

※条件を満たす申請者は全員採用となります。

※兄弟姉妹が大学院または通信教育部に在学している場合、および編入学、転入学、再入学した学生は申請の対象者から除きます。

成績優秀者を奨励するための奨学金

5 創価大学特別奨学生

給付型・返還不要

入学試験の成績優秀な合格者に奨学金を給付します。

給 付 額	文系学部40万円、理工・看護学部50万円を給付（1年次は春学期に一括給付、2年次以降は半期ごとに給付）			
入 試	公募推薦入試	大学入学共通テスト利用入試(前期)	全学統一入試	一般入試
採用人数	8名	100名	8名	15名
採用期間	4年間 ※学業成績による継続審査あり			
対 象 者	全受験生（特別な申請手続きは不要・採用者には合格通知に記載）			

※上記「文系学部」は経済・経営・法・文・教育・国際教養学部です。

※掲載している内容は2022年7月時点における、2023年度実施予定のもので、今後変更される場合があります。最新情報は本学ホームページをご確認ください。

6 Learning Agreement (LA) 奨学生

給付型・返還不要

大学入学共通テスト利用入試（前期3科目方式／4科目方式）において、高い得点率での合格を条件に、奨学金の給付と特典を受験前に先行確約する制度です。

給付額	文系学部40万円、理工・看護学部50万円を給付（1年次は春学期に一括給付、2年次以降は半期ごとに給付）
特典	・GCP（Global Citizenship Program）、法学部GLP（Global Lawyers Program）、経済学部HOPE（Honors Program in Economics）希望者には、入学後に実施する各プログラムの選考試験を免除し、受験前に受講を先行確約 ・創友会ふるさと給付奨学金（70万円）を給付
採用人数	若干名
採用期間	4年間 ※学業成績による継続審査あり

※上記「文系学部」は経済・経営・法・文・教育・国際教養学部です。
※本制度を希望する場合、事前申請が必要です。本学ホームページをご確認ください。

7 創価大学特待生奨学金

給付型・返還不要

大学入学後の成績優秀者を奨励する奨学金です。

給付額	当該セメスターに15万円を支給
採用人数	各セメスター約100名 年間約200名
採用期間	当該セメスター
採用方法	各学部でセメスターGPA*上位者を採用
対象者	全学生（特別な申請手続きは不要・全学生の成績を審査し、採用者に通知）

※GPA(Grade Point Average)：大学入学後の成績指標。各科目の成績評価と単位数から成績点数を換算し、その成績点数の合計を総履修単位数で割った数値。

その他の奨学金

8 創価大学法曹会奨学金

給付型・返還不要

法曹をめざす方のための奨学金です。

対象者	法曹（弁護士、検察官、裁判官）になるため、法学部のGLP（Global Lawyers Program）に参加し、本学法科大学院への進学をめざす学生
給付額	当該年度の授業料の半額相当を給付（セメスターごとに給付）
採用人数	法学部1学年5名以内を採用（毎年選考）
選考方法	本学の入学試験およびGLP選抜試験の成績上位者から選考（2年次以降はGPA等により選考）

9 創価大学国際奨学金

給付型・返還不要

交換留学および大学の実施する海外短期研修プログラムに参加する学生を支援するための奨学金制度です。

対象者	交換留学試験合格者および大学の実施する海外短期研修プログラムに参加する学生（国際教養学部の実施する留学は対象外）
給付額	交換留学：5万円～70万円（留学先によって異なる） 海外短期研修：1万円～5万円（研修先によって異なる）
採用人数	交換留学：毎年度100名程度 ・ 海外短期研修：毎年度300名程度
申込方法	交換留学およびプログラムに合格後、手順に従って申請 ※他団体の返還不要の奨学金との併用は不可

10 創価大学国際教養学部牧口記念教育基金会留学研修奨学金

給付型・返還不要

国際教養学部の実施する必修の海外留学を支援するための奨学金制度です。

対象者	国際教養学部の実施する必修の海外留学に参加する学生
給付額	年度によって異なる（10万円程度）
採用人数	年度によって異なる（他団体の返還不要の奨学金との併用は不可）
申込方法	特別な申請手続きは不要・採用者には個別に通知

※詳細は、国際教養学部事務室（042-691-6904）にお問い合わせください。

11 創友会ふるさと給付奨学金

給付型・返還不要

創価大学卒業生団体の運営する奨学金です。

出願	受験前の12月中旬ごろまでに創友会総支部長の推薦を受け、1月中旬までに出願書類を創友会総支部長に提出
提出書類	①願書（保証人の同意が必要）②大学入学共通テスト 結果閲覧承諾書
給付額	70万円（入学前に一括給付）
採用人数	原則各県1名（加えて方面採用枠若干名）
対象者	①創友会員の子・孫、または地域の受験生で、創価大学を志望し受験する者 ※ただし、大学入学共通テスト利用入試（前期3科目方式または前期4科目方式）での受験が条件 ②各県の創友会総支部長の推薦のある者

※出願手続きの詳細は、創友会事務局（042-691-1300）にお問い合わせください。

学外奨学金・貸付制度 創価大学以外の団体が実施する奨学金です

● 高等教育の修学支援新制度

減免型・給付型・返還不要

支援内容	<p>○対象者には入学金及び授業料の減免と、生活費のための奨学金が給付（返還不要）</p> <p>私立大学生の減免額（年額）：入学金上限約26万円 授業料上限70万円 私立大学生の給付額（月額）※：自宅生38,300円（年間約46万円） 自宅外生75,800円（年間約91万円） ※生活保護世帯または児童養護施設出所者等で保護者等と同居する学生には月額42,500円（年間51万円）給付</p> <p>◎家計基準の区分に応じて、上記支援標準額の全額、3分の2、3分の1の支援が受けられます。</p>
対象者	<p>○国の要件を満たした大学等に在学する学生であること（2～4年生も含む）</p> <p>○家計基準、成績基準の両方を満たすこと</p> <p>※高校卒業後2年以内の方、高卒認定試験合格後2年以内の方も申し込み可能です（年齢による制限があります）。 ※その他に国籍や在留資格による基準もあります。</p>
家計基準	<p>○家計基準は住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯（3段階で支援）</p> <p>以下の算式により算出された額について、保護者、学生等の合計額が基準額に該当すること 【算式】市町村民税の所得割の課税標準額×6%－（調整控除の額＋税額調整額）※</p> <p>※政令指定都市に市民税を納税している場合は、（調整控除の額＋税額調整額）に3/4を乗じた額</p> <p>第Ⅰ区分（標準額の全額支援）：100円未満（市町村民税所得割額が非課税となる者を含む） 第Ⅱ区分（標準額の2/3支援）：100円以上～25,600円未満 第Ⅲ区分（標準額の1/3支援）：25,600円以上～51,300円未満</p> <p>◎日本学生支援機構のホームページでシミュレーションすることができます。 日本学生支援機構 進学資金シミュレーター https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html</p> <p>※保有する現金等の資産（預貯金・有価証券等）が2,000万円（父子母子家庭は1,250万円）以上の場合、対象外となります。</p>
成績基準	<p>○成績基準は高校時の成績だけでなく、学習意欲を確認</p> <p>高校2年次（申込時）までの評定平均値が3.5以上 評定平均値が3.5に満たない場合、レポート等により学習意欲が確認できれば申し込み可能 ※高卒認定試験合格者は評定平均値を問わず、レポート等の提出も不要です。</p>
採用期間	<p>採用年度から4年生まで</p> <p>※入学後の成績および家計状況について継続審査があります。 ※毎年夏に実施される家計状況の審査結果に応じて区分が変更されることがあります。</p>
申込時期	<p>予約採用 ⇒ 高校3年時4月～7月頃（在学高校の奨学金担当者にお問い合わせください） 在学採用 ⇒ 大学入学後、4月初旬に案内予定</p>
注意事項	<p>第Ⅰ区分、第Ⅱ区分の支援対象者は、日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）が0円に調整 第Ⅲ区分の対象者は、日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）の貸与月額が2万円程度に調整</p> <p>※日本学生支援機構第二種奨学金（有利子）は併用可能です。 ※創価大学独自の給付奨学金制度および地方公共団体、民間団体の奨学金制度についても、各制度によって併給の可否が異なりますので、各制度の詳細をよくご確認ください。</p>



※通信教育課程に進学する場合も、上記の家計および成績基準を満たす場合は対象となります。ただし、支援される額は異なります。
※予期せぬ事情により家計が急変し、急変後の収入が家計基準を満たす場合、事由発生から3か月以内（入学前の事由は入学後3か月以内）に申し込むことにより、年度の途中からでも支援を受けることができる「高等教育の修学支援新制度（家計急変）」があります。
※その他、制度の詳細は以下のホームページをご確認ください。
文部科学省 ホームページ：<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>
日本学生支援機構 ホームページ：<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

○創価大学に入学した場合の入学金・学友会費を含む1年次の減免額と納付額（第Ⅰ区分対象者）

	経済・経営・法	文・教育	理工	看護	国際教養
入学金減免額	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円
授業料減免額(年間)	700,000円	700,000円	700,000円	700,000円	700,000円
納付額(年間)	269,000円	289,000円	689,000円	719,000円	529,000円

※上記金額は支援標準額の全額支援対象者となった場合の金額です。支援区分に応じて、減免額が3分の2、3分の1になります（100円未満切り上げ）。
※入学手続き時の納付額は、合格通知発送時に送付する入学手続要項をご確認ください。

●日本学生支援機構 第一種・第二種奨学金 ※予約制度有り

	第一種奨学金 貸与型・無利子	第二種奨学金 貸与型・有利子
貸与月額	自宅生：2万円、3万円、4万円、5万4千円（最高月額） 自宅外生：2万円、3万円、4万円、5万円、6万4千円（最高月額） ※最高月額は機構の定める基準を満たした場合のみ選択可能	2万円から12万円のうち1万円単位で選択
利子	なし	年利0.369%（2022年3月現在・利率固定方式の場合） ※利率は上限年利3%
申込条件	日本学生支援機構の定める「学力に関する基準」（高校での評定平均値3.5以上）と「家計に関する基準」の両方を満たしていること ※低所得世帯は基準なし	日本学生支援機構の定める「学力に関する基準」（標準的な成績であること）と「家計に関する基準」（第一種より緩やかな基準）の両方を満たしていること
貸与期間	採用年度から4年生まで（継続審査あり）貸与開始月は4月	
申込時期	①予約採用⇒高校3年時4月～7月頃（在学高校の奨学金担当者にお問い合わせください） ※予約採用者は期日までに手続きをすることによって、大学入学後4月から入金開始 ②在学採用⇒大学入学後、4月初旬に案内予定 ※在学採用者は採用後、6月に初回入金（4月～6月分がまとめて入金）	
注意事項	「高等教育の修学支援新制度」の第Ⅰ区分、第Ⅱ区分の支援対象者は、日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）が0円に調整 第Ⅲ区分の対象者は、日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）の貸与月額が2万円程度に調整 ※日本学生支援機構第二種奨学金（有利子）は併用可能です。	

機構ホームページ：<https://www.jasso.go.jp>

※申し込み採用になれば一種と二種の併用貸与も可能です。

※家計が急変した場合、1年以内に申し出ることにより、第一種奨学金と第二種奨学金の内、その時点で貸与を受けていない方の奨学金を事由発生年月まで遡って貸与を受けることのできる「緊急・応急採用」制度があります。

貸与型奨学金制度を利用する場合は、返還総額と月々の返還額を事前に確認し、借り過ぎに注意してください。

●日本学生支援機構 入学時特別増額貸与奨学金 ※予約制度有り 貸与型・有利子

入学後、初回入金時1回限り、増額して貸与を受ける制度です。

貸与額	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択（利率は第二種奨学金の利率に0.2%上乗せされ算出）
申込条件	利用する場合は、以下の①②のどちらかの条件を満たすこと ①奨学金申込時の家計状況が、機構の定める基準（認定所得金額0円以下）を満たす場合 ②日本政策金融公庫の実施する「国の教育ローン」（下記を参照）に申し込み、公庫が定める要件を満たした上で、融資を断られた場合

●全国労働金庫協会 入学時必要資金融資 貸与型・有利子

入学後に貸与する日本学生支援機構の入学時特別増額貸与奨学金を担保にして、入学前に「ろうきん」から融資を受ける制度です。

貸与額	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択（年利1.66%）（2021年9月1日現在）
申請条件	日本学生支援機構奨学金の「入学時特別増額貸与奨学金」を、高校在学時に予約で申請した方

※予約採用後に発行される「日本学生支援機構奨学金 採用候補者決定通知」に「入学時特別増額貸与奨学金（有利子）（日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込必要）」と記載されている場合、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」に申請し、融資を断られたことを証明する書類が必要になります。

※融資を実際に申し込む際には、学生本人同伴のもと、本人確認書類や学費納付書などの提出が必要になります。詳細はお近くの「ろうきん」にお問い合わせください。

●自治体・公共団体および企業の実施する奨学金 給付型・貸与型

各団体によって基準を設け募集を行っています。返還義務のない奨学金や無利子のものもあり、学生にとって利点が多くあります。予約型の奨学金制度を設置している団体もありますので、詳細は各団体にお問い合わせください。

●日本政策金融公庫 国の教育ローン 貸与型・有利子

申し込みは一年中いつでも可能です。合格発表前でも申し込みができますのでお早めにお申し込みください。

合格発表前、進学を決めた時点で相談、申し込みをすることにより入学手続き時の入学金・授業料や留学、通学、下宿にかかる費用の支払いなど幅広く利用することができます。申し込みから10日前後で審査され、融資の決定からさらに10日程度で送金されます。

対象者	大学などに入学・在学する方の保護者および親族で、世帯の年間収入が基準額を満たす方
融資額	学生1名につき350万円以内（自宅外通学や海外留学等の一定の要件を満たす場合450万円以内）
返済期間	18年以内
融資利率	年1.80% <2022年5月2日現在> ※父子母子家庭・世帯年収200万円以内等の方は1.40%
その他	(財)教育資金融資保証基金の保証（保証料が発生）または連帯保証人が必要です。

・国の教育ローンコールセンター：ナビダイヤル 0570-008656 【詳細】<https://www.jfc.go.jp/>

●銀行・金融機関の教育ローン 貸与型・有利子

銀行、金融機関によって、融資額、金利、収入基準額が異なります。詳細は直接銀行にお問い合わせください。

●楽天銀行教育ローン ●セディナ学費ローン（三井住友フィナンシャルグループ）

大学が提携している教育ローンです。インターネットなどからお申し込みください。

入学金・学費

■納付金 (2023年度入学生・予定)

内訳		経済・経営・法学部	文・教育学部	理工学部	看護学部	国際教養学部
入学金		200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
学費 (春学期分)	授業料	475,000	485,000	640,000	620,000	605,000
	実習費	-	-	45,000	80,000	-
諸費	学生会費	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000
春学期分合計		494,000	504,000	704,000	719,000	624,000
秋学期分合計 (春学期分の合計から学生会費を除く額と同額)		475,000	485,000	685,000	700,000	605,000
初年度納付金合計		1,169,000	1,189,000	1,589,000	1,619,000	1,429,000

※入学金・学費・諸費は改定されることがあります。

※2年次以降の納付額は上表から入学金・学生会費を除く金額となります。

★教職課程登録について

教職課程を希望する場合、「教職課程費 50,000円」が必要になります。課程登録時と教育実習登録時に25,000円ずつ分割での納入となります。

★看護学部について

看護学部は一般社団法人日本看護学校協議会共済会が運営する総合補償制度 (Will2) の保険料 (年間保険料4,500円) が別途、毎年必要になります (保険料変動あり)。

★国際教養学部について

国際教養学部の学費には、留学にともなう往復航空運賃、留学先授業料、海外傷害保険料が含まれています。

その他の留学に必要な費用 (ビザ代、寮費・ホームステイ費、留学先大学健康保険費、食費、交通費等) は含まれておりません。

留学先での生活状況や為替の変動により必要な費用は変わりますが、年間で60万~100万円程になる見込みです。

■学費納付期限

	入学金	1年次		2年次以降	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
原則年2回 分割納付	合格発表後1~2週間	入学前3月上旬頃	11月上旬	5月下旬	11月上旬

■寮費納付期限

入寮費	選考結果発表後1~2週間
舎費・食費	3月上旬頃

※入寮費は全寮一律5万円です。

※2回払いも選択できます。2回払いの場合、秋学期分は11月上旬頃の納付です。

寮費

※以下の内容は2023年度募集段階の情報です。
今後変更される場合があります。

参考データ：1か月あたりの生活費

私立大学生の居住形態別支出金額

国際学生寮		部屋	入寮費*1	寮費*1
男	滝山国際寮	1人	50,000円	673,000円*2
	万葉国際寮	1人	50,000円	448,000円
女	創春寮	2人	50,000円	378,000円
	サンフラワーホール	1人	50,000円	416,000円

	自宅	寮	下宿
修学費	4,000	4,000	4,000
課外活動費	1,000	3,000	2,000
通学費	6,000	1,000	1,000
食費	7,000	19,000	22,000
住居・光熱費	-	26,000	40,000
保健衛生費	3,000	3,000	4,000
娯楽・嗜好費	11,000	10,000	11,000
その他の日常費	11,000	12,000	14,000
合計	43,000	78,000	98,000

※日本学生支援機構 学生生活調査結果 (令和4年3月) を基に作成

学部寮		部屋	入寮費*1	寮費*1
男	宝友寮	2人	50,000円	593,000円*2
	白萩寮	2人	50,000円	338,000円
女	朝霧寮	2人	50,000円	338,000円
	桜香寮	2人	50,000円	338,000円
	香峯寮	2人	50,000円	293,000円

※1 入寮・寮費については、変更する場合があります。

※2 滝山国際寮・宝友寮は寮費の中に食費 (225,000円/日曜日を除く朝夕) が含まれています。

※ 在寮期間は8月と3月の退寮期間を除く約10か月間となります。



目の前の一人の笑顔のために尽くす 創価教育の実践者に！



星原 律 さん 理工学部 2020年卒業
教職大学院2022年修了

創価大学理工学部を卒業後、教職大学院に進学し、現在、都内の公立中学校で数学の担当と特別支援学級の副担任をしています。特別支援学級の生徒たちは、できないことへの焦りやもどかしさから授業に参加できなくなってしまうことも少なくありません。そのため、一人ひとりの課題に合わせた指導をすることで、できることを少しずつ増やし、自分に自信が持てるよう、可能性の「芽」を育てながら、日々、真剣勝負で生徒と関わっています。私が中学2年生の時、英語の先生から「苦手は自分を大きく成長させるチャンス」と励まされ、苦手だった数学に挑戦。1年後には得意な科目に変えることが

できました。ちょうどその頃、地域の方が創大のパンフレットを持ってきてくれました。最初は選択肢の一つくらいにしか思っていませんでしたが、両親から「自分で見て大学を決めなさい」と言われ、オープンキャンパスに参加。誇りを持って創大の魅力を語る先輩の姿に、少しずつ心を動かされました。受験当日、見ず知らずの先輩が「合格して一緒に学べることを楽しみにしています！」と声をかけてくださり、「ここで学んで教師になろう！」と決めました。兄も大学生で両親には大きな負担をかけたのですが、貸与奨学金の他、牧口奨学金に採用され、充実した4年間を過ごすことができました。

ところが、入学できたものの、コロナ禍で授業の開始が遅れ、全てオンラインに。誰も経験したことがない事態に戸惑いましたが、前例が無いなら自分たちで授業を新たに作っていいかと、皆で一致団結。オンラインでのディスカッションでは小・中学校で経験を積んだ先輩教員の方々の貴重なお話を伺うことができ、視野がとても広がりました。教育の目的はここまでいっても子どもたちの幸福のためです。創大の教職大学院では、「どうすれば子どもが幸福になれるのか」と、本気で議論します。科目の教え方、生徒指導など、具体的な事例をあげながら、それぞれの背景を持った「創価教育の探究者

理想の教師像を追い求め教職大学院へ

大学1年生の時から、教職大学院に進学し、学びを深めたいと思っていました。経済的な余裕はありませんでしたが、給付奨学金のおかげで進学を実現できました。ところが、入学できたものの、コロナ禍で授業の開始が遅れ、全てオンラインに。誰も経験したことがない事態に戸惑いましたが、前例が無いなら自分たちで授業を新たに作っていいかと、皆で一致団結。オンラインでのディスカッションでは小・中学校で経験を積んだ先輩教員の方々の貴重なお話を伺うことができ、視野がとても広がりました。教育の目的はここまでいっても子どもたちの幸福のためです。創大の教職大学院では、「どうすれば子どもが幸福になれるのか」と、本気で議論します。科目の教え方、生徒指導など、具体的な事例をあげながら、それぞれの背景を持った「創価教育の探究者

今日も目の前の一人の笑顔のために

私には生まれながらに知的障がいを持った妹がいます。家族全員、妹のことが大好きです。特別支援学校に通っていた妹が、親身な先生方に支えられ、できなかったことが少しずつできるようになり、「学校が楽しい」と妹も家族も笑顔になりました。「子どもとの喜



と互いに意見をぶつけあう、本当に刺激的な2年間でした。実際に授業をするなかで、たとえ上手くいなくても、振り返った際に教職大学院で得た学びからその原因を探り当てることができ、よりよい授業をつくっていくアイデアもすぐ思い付きます。もし、教職大学院で学んでいなければ、すぐに行き詰まっていたかもしれませぬ。

創大Days

星原さんの教職大学院での学びなどもっと詳しく知りたい方は創価大学ホームページをご覧ください



びを身近で感じることで、できる教師は、何て素晴らしい仕事だろう」と感動し、私も教育者を志しました。今、教壇に立つ中で、生徒と以前の妹の姿が重なります。目の前の生徒にも、妹のように無限の可能性がある。輝ける場所がある。この子が笑顔になれば、みんなが笑顔になれる。そのために自分にできることが必ずあると確信しています。学校現場は悩みと試行錯誤の連続ですが、今日も目の前の一人の笑顔のために尽くす「創価教育の実践者」として挑戦を続けていきます。

お問い合わせ先 創価大学 学生課 奨学金係

☎ 042-691-2161 FAX 042-691-9475
平日/9:00~17:00 (土・日・祝日除く)
〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236 syougakukin@soka.ac.jp
★奨学金の情報は本学ホームページにて詳細を公開しています。情報は今後更新される場合がありますので、必ずご確認ください。

